

植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極拔去術の施設基準に係る届出書添付書類

1	届出種別 (該当するいずれか1つを○で囲むこと)	1 : 新規届出 2 : 再度の届出
	実績期間 開始年月 (和暦で記載すること) 終了年月 (和暦で記載すること)	年 月 ----- 年 月
2	標榜診療科	
	循環器内科 (該当するいずれか1つを○で囲むこと)	1 : 有 2 : 無
	小児循環器内科 (該当するいずれか1つを○で囲むこと)	1 : 有 2 : 無
	心臓血管外科 (該当するいずれか1つを○で囲むこと)	1 : 有 2 : 無
3	心臓電気生理学的検査等の年間実施症例数	例
	うち、致死性不整脈(心室性頻拍性不整脈又は開心術後不整脈)に対するもの	例
4	開心術又は冠動脈、大動脈バイパス移植術等の年間実施症例数	例
	ペースメーカー移植術の実施症例数	
	経静脈電極	例
	心筋電極	例
5	常勤の循環器内科又は小児循環器内科及び心臓血管外科の医師の氏名等	
	常勤医師 1	
	氏名	
	勤務時間	時間
	診療科名	科
	常勤医師 2	
	氏名	
	勤務時間	時間
	診療科名	科
	常勤医師 3	
	氏名	
	勤務時間	時間
	診療科名	科
6	常勤医師にかかる所定の研修の修了状況	
	常勤医師 1	
	氏名	
	研修の名称	
	研修の実施主体	
	研修修了年月日	年 月 日
	常勤医師 2	
	氏名	

	研修の名称	
	研修の実施主体	
	研修修了年月日	年 月 日
	常勤医師 3	
	氏名	
	研修の名称	
	研修の実施主体	
	研修修了年月日	年 月 日
	7 当該保険医療機関内で必要な検査等が常時実施できる機器	
		一般的名称
(1) 血液学的検査		
(2) 生化学的検査		
(3) 画像診断		
8 重症心不全患者又は不整脈患者の治療方針を決定するカンファレンスの名称		

1 「1」は特掲診療料施設基準通知第2の4の(3)に定めるところによるものであること。

2 「3」は、新規届出の場合には実績期間内に心臓電気生理学的検査が 25 例以上（うち心室性頻拍性不整脈症例が 3 例以上）、再度の届出の場合には実績期間内に心臓電気生理学的検査が 50 例以上（うち心室性頻拍性不整脈症例が 5 例以上）必要であること。ただし、心筋電極によるものの場合は、体外式ペースメーカーを用いた循環器集中管理を実施した症例数及び開心術術後不整脈の症例数を合わせて当該基準を満たせばよいものであること。また、当該手術症例一覧（実施年月日、手術名、患者の性別、年齢、主病名）を別添2の様式 52 により添付すること。

3 「4」は、新規届出の場合には実績期間内に開心術又は冠動脈、大動脈バイパス移植術を合わせて 15 例、かつ、ペースメーカー移植術を 5 例以上、再度の届出の場合には実績期間内に開心術又は冠動脈、大動脈バイパス移植術を合わせて 30 例、かつ、ペースメーカー移植術を 10 例以上が必要であること。ただし、心筋電極によるものの場合は、**新規届出の場合には実績期間内に開心術又は冠動脈、大動脈バイパス移植術を合わせて 15 例、かつ、経静脈電極によるペースメーカー移植術を年間5例以上又は心筋電極によるペースメーカー移植術を半年に1例以上、再度の届出の場合には実績期間内に開心術又は冠動脈、大動脈バイパス移植術を合わせて 30 例、かつ、経静脈電極によるペースメーカー移植術を年間10例以上又は心筋電極によるペースメーカー移植術を3年間に3例以上が必要であること。**また、当該手術症例一覧（実施年月日、手術名、患者の性別、年齢、主病名）を別添2の様式 52 により添付すること。

4 「5」の常勤医師の勤務時間について、就業規則等に定める週あたりの所定労働時間（休憩時間を除く労働時間）を記載すること。

5 「6」については、常勤医師の氏名、研修の名称、実施主体及び修了日を記載すること。

6 「8」は、心筋**電極**を用いるものの届出を行う場合に記入し、重症心不全患者又は不整脈患者の治療方針を決定するカンファレンスの議事録を、個人情報情報をマスクした上で、添付すること。